

Mitsui Fudosan

三井不動産 Story

勝どきと聞いて
「ああ、あのマルシェのある街ね」
と言われるのはきつと時間の問題だ。

2020年を過ぎたとき、
ここ湾岸は新しいひとつの街になっている。
そんな未来を感じるのが
この太陽のマルシェだ。
もう6年目を迎える勝どきエリアで
毎月開かれる日本最大級のこのイベントは、
イベントという言葉が似合わないほど
この暮らしに馴染んでいる。
マルシェのある休日の朝が待ち遠しい。
その気持ちはきつと、
ここにずっと暮らしているひとたちと
あたらしくここで暮らしはじめたひとたちを
笑顔で結ぶはずだ。
だから毎回100を超えるお店を全国から集めるだけでなく
子供たちのためのマルシェや
たくさん工夫をして進化させなくては。
そんな思いがここを温かい場所に行っている。
月島のもんじや。築地の市場。勝どきのマルシェ。
そんな風に呼ばれるようになるのも
きつとそう遠くない未来だ。
勝どきのお店のシェフが、ここで地方の食材に惚れ込んだ。
出店を並べたお店同士が、新しいコラボ商品を作った。
そんなうれしい風景が広がっている。
街は人がつくるんだ。
ここにくるとあらためてそう思う。

いい街には、物語がある。

